

平成27年度

公開研究発表会

～日頃の研究成果を研究員が発表します。皆様のご来場をお待ちしております。～

日時:平成28年1月7日(木)午後1時00分

場所:東京都庁 都議会議事堂1階 都民ホール

特別講演

「私たちの身の回りの有害化学物質」

淑徳大学 教授 北野 大 氏



プログラム

- 13:30～13:35 開会挨拶・・・東京都環境科学研究所 所長 中村 豊
- 13:35～14:30 特別講演「私たちの身の回りの有害化学物質」・・・淑徳大学 教授 北野 大 氏
- 14:30～15:00 研究発表「都内における微量有害化学物質の環境実態」・・・分析研究科 加藤 みか
- 15:00～15:10 休 憩
- 15:10～15:40 研究発表「東京の水環境 一過去、現在、今後の課題一」・・・調査研究科 和波 一夫
- 15:40～16:10 研究発表「再生可能エネルギー・未利用エネルギーの活用技術について」
・・・調査研究科 藤原 孝行
- 16:10～16:40 研究発表「自動車排出ガス規制と当研究所で行っている排出ガスの計測について」
・・・調査研究科 上野 広行
- 13:00～13:30、16:40～17:10 研究成果 ポスター発表(ロビーにて)

お問い合わせ

公益財団法人東京都環境公社 東京都環境科学研究所 広報担当まで

TEL 03-3699-1331 FAX 03-3699-1345

ホームページ <http://www.tokyokankyo.jp/kankyoken/>

主催:東京都環境局

発表の概要

13:00～13:30	ポスター発表(ロビー)
13:30～13:35	開会挨拶 東京都環境科学研究所 所長 中村 豊
特別講演	「私たちの身の回りの有害化学物質」 淑徳大学 教授 北野 大 氏
13:35～14:30	化学物質審査規制法及び残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約では種々の物質が規制されています。この講演ではまず上記の法及び条約の内容、規制されている物質について、どのようなデータに基づき規制されているのか、すなわち規制の根拠及び規制の内容について述べます。
14:30～15:00	「都内における微量有害化学物質の環境実態」 分析研究科 加藤 みか 都内の河川には、様々な化学物質が排出されており、中には生物・生態系への影響が懸念される有害化学物質も含まれています。ここでは、近年の規制で製造等が禁止となった後も、環境中への残留、生物への蓄積が懸念されている臭素系難燃剤(HBCD)を中心に、都内の環境実態について報告します。
休憩 15:00～15:10	
15:10～15:40	「東京の水環境 —過去、現在、今後の課題—」 調査研究科 和波 一夫 高度経済成長期に水質が著しく悪化した都内河川は、環境対策の進展によって大きく改善しました。近年はアユの遡上数が増加し、ヤマトジジミも復活しました。しかしながら、雨天時の水質問題など、さらなる改善が求められています。水環境の変遷をふりかえりながら、現在の到達点を確認し、今後の課題を報告します。
15:40～16:10	「再生可能エネルギー・未利用エネルギーの活用技術について」 調査研究科 藤原 孝行 CO2削減は、待った無しの課題です。そのため、カーボンフリーのエネルギー利用は重要な技術となっています。これまで、当研究所が取り組んできた再生可能エネルギー・未利用エネルギー利用技術について説明します。また、期待が高まっている、水素エネルギーの利用技術について、検討されている利用技術を紹介します。
16:10～16:40	「自動車排出ガス規制と当研究所で行っている排出ガスの計測について」 調査研究科 上野 広行 自動車を発売する際は、国が定めた走行パターンにおいて排出ガス規制値をクリアしなければなりません。この規制は新車時のみ適用されます。そこで当研究所では実際に使用中の車両を用いて、国の規制値の有効性の確認や、汚染物質排出量算定のための計測を行っています。ここでは、その計測方法と結果の概要について説明します。
16:40～17:10	ポスター発表(ロビー)

会場へのアクセス

- JR新宿駅西口から徒歩約10分
 - 都営大江戸線 都庁前駅
- ※ご来場は、公共交通機関をご利用ください。

予約不要・参加無料

先着250名様

